

調査報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

訪問調査日	平成 19年 3月 22日
調査実施の時間	開始 10時 00分 ~ 終了 15時 00分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム ことぶき (福島県)
評価調査員の氏名	氏名 <u>松田 節子</u> 氏名 <u>河治 清勝</u>
事業所側対応者	職名 <u>管理者</u> 氏名 <u>大平 千鶴子</u> ヒアリングを行った職員数 (1)人

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年 4月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0770402311
法人名	有限会社ことぶきケアサービス
事業所名	グループホーム ことぶき
所在地	福島県いわき市錦町川窪101-3 (電話) 0246-63-9360
評価機関名	特定非営利活動法人福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町竹の花20
訪問調査日	平成19年3月22日

【情報提供票より】(平成19年 3月 3日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日
ユニット数	1 ユニット
職員数	10 人
利用定員数計	9 人
常勤	6人, 非常勤 0人, 常勤換算 6人

(2)建物概要

建物構造	単独/新築/木造
	1階建ての 1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000 円	その他の経費(月額)	500 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

(4)利用者の概要(3月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 85歳	最低 58歳	最高 97歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	ゆうクリニック、おおひら歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

どこにでもあるお宅のように挨拶を交わして来所される家族や外部の方を笑顔で迎え、さり気ない行き届いたケアは、当グループホームの理念を熟知し、スタッフはOJT(職場での働きながらの学習)を惜しまない。安らぎの中に自信を取り戻せ豊かな感情をもって自由な暮らしができる第二のわが家のようなものである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価結果を全職員で検討し、改善に向け具体的実践につなげていた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を全職員で行う意識づけをして実行している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を開催してから日が浅いため、討議内容をいかした具体的な取り組みまでは至っていないが、今後の地域交流へ向け実践していけることを期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	定期的にホーム便りを発行し、暮らしぶりを写真付きで送付している。意見、苦情、不安に対しては窓口を設けており、その都度対処できるよう努めている。当ホームは頻回に面会があるため、その際に要望、意見を気軽に相談できる場を設けている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームへの受け入れは充分できているが、地域、保育園、学校の行事への積極的な参加の声かけも期待したい。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム独自の理念を管理者が職員に明確に伝えており、管理者手作りの理念の掲示はホームにマッチしていた。		
		理念の共有と日々の取り組み			
2	2	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティングにおいて、理念の実現に向けて職員一同取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	2月下旬より2か月に一度、グループホーム運営推進会議を設置し、地域交流を図っている。		地区、保育園、学校に協力を得て行事に参加していく。例えば、下校時の子供見守り隊への参加などを推進していく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の結果を基に、職員一同が改善に向けての努力と実践につなげていた。		
		運営推進会議を活かした取り組み			
5	8	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議設置の日が浅いため、具体的な取り組みまでは至っていない。		現在の参加メンバーに加え、地域包括支援センターの職員に協力を得て、市町村職員の意見反映と参加を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる			
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	年3回発行されるホーム便りで行事や催し物の様子を写真付きで送付している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所される家族をお茶で温かく迎え、意見、要望等を伺い、場を見て家族同士の話し合いが持てるようさり気なく席を外していた。出された意見、要望はミーティングで話し合いに反映されていた。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	常勤の職員が同じ時間帯に勤務配置に就いており、夜勤専門の職員もいて流動的变化に対応している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回、外部研修を受講し、カンファレンスにて研修報告を行うと共に研修資料をファイルし、職員すべてが目を通せるようにしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームと連携を取り情報交換を図ったり、地区研修会での相互の事例検討等を通してサービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者一人ひとりの個性を見極めて喜びや安心感へつなげた場面づくりや声かけがされていた。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	個々の利用者の楽しみ事を日常の中で見つけ出し、さり気ない支援介助がされており、意思疎通が困難な方には家族から情報を得て実践に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居時の聞き取りはもちろんのこと、職員を個別担当として介護計画に基づいて月次報告し、月1回のカンファレンスにおいて共有している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3か月ごとの見直しを行うと共に、臨機応変な見直しもされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居時の聞き取りはもちろんのこと、職員を個別担当として介護計画に基づいて月次報告し、月1回のカンファレンスにおいて共有している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医があり、家族や職員が同行している。要望に応じて往診もされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホーム独自の緊急時マニュアルを作成し、重度化に伴う意思確認書を記載している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者を傷つけないさり気ない声かけや誘導がされていた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	部屋にこもりがちな利用者に対し、強制的に誘導したりせず、寝坊をする利用者に対しても、本人のペースを尊重していた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の野菜を献立に取り入れ、食を通した楽しい会話の中で食事をされていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	高齢者やADL(日常生活身体機能)が低い利用者に合わせて時間帯や回数が設定されていた。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の能力に合わせて、声かけし、洗濯たみなどの役割を作っている。		裏庭の畑にじゃがいも畑があり、徘徊ぐせがある利用者や男性の利用者の協力を得て、収穫までの共同作業を支援して欲しい。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望を聞き、買い物や散歩に出かけている。歩行困難なケースでも、車いす移動で戸外へと連れ出している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者一人ひとりの外出傾向を把握しており、日中は鍵をかけずにチャイムセンサーを設置している。外出してしまった利用者に対しては、そっと背後で見守り、一緒について行くなど安全面で細かな配慮が見られた。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員は地区による消防訓練に参加したり、救命救急法を身につけている。また、避難側のウッドデッキに避難経路を確保する予定で計画が進められている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取量や水分量をチェックし、記録として残している。		地域の栄養士の協力を得て、定期的に献立のチェック指導をしてもらう。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同スペースは整理整頓されており、行動範囲を拡大できるように工夫してある。また、和の調度品の数々が心を和ませていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅からベッドやソファの持ち込みがあり、ホーム側の物品と馴染んだスペース配置になっていた。		

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホームことぶき

記入担当者名 管理者 大平千鶴子

評価結果に対する事業所の意見

真摯に受け止め、今後さらに工夫や改善に取り組んでいきたいと思いを。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。